

野比だより

横須賀市立野比中学校

令和4年(2022年)3月25日(金) NO. 14

保護者の方と一緒に読みましょう

たくさん成長した1年でした!

コロナが続き、多くの制限がありましたが、できることに全力で取り組み、たくさん成長できた1年でした。1・2年生が生徒会を引き継いでからいろいろなことを計画し実行してくれました。執行部は公約で掲げたことを先生方と相談しながら、進めてくれています。執行部役員と各種委員は生徒の皆さんが選んだリーダーであり、生徒の代表として話し合ったり、よりよい野比中とするための知恵をみんなで出し合い、取り組んでいます。先日の球技大会・レク大会はそれぞれの学年行事でしたが、役割を担ったリーダーたちを中心に学年みんなで楽しむ姿がありました。見ていて、こちらも嬉しくなる時間でした。

1年生 球技大会

1年生は文化委員会が中心となり、4時間を進行させました。体育館では、ドッジボール、グラウンドではハンドボールが行われ、それぞれのクラスで活躍している人がたくさん見られました。最後には大縄を学級対抗で行い、5月の校外行事、9月のNOBILYMPICに続く3回目の大縄大会らしく、上手に跳ぶ姿が見られました。日頃の授業を見ても、この1年間ですっかり中学生らしくなった1年生、いよいよ新入生を迎え、4月からは先輩と呼ばれる立場になります。口で野比中らしさを伝えるのではなく、行動でこれからも示してほしいと思います。頼もしい先輩となってくれることを願っています。



2年生 レク大会

2年生は2年生らしく、レク大会と銘打って、たくさんの種目を計画しました。野比東小学校からも道具をお借りして楽しいレク大会を企画しました。生徒会執行部とすべての委員会のメンバーで分担し、取り組み、進行もスムーズに行っていました。「バスケットボール」と「タッチラグビー」、「サッカー」、「玉入れ」、「ドロケイ」最後は「学級対抗リレー」と楽しそうでした。タッチラグビーは体育の授業で取り組んだ種目とのことで、見学している人からそのルールや競技の楽しさを説明してもらいました。授業で学んだことがこういう場面に生かせるのはとても素敵なこと。そして、感心したのは、その説明がとてもわかりやすく上手だったことです。競技には体調などの理由で参加できなくても、仲間の写真をとったり、誰かにそれを解説できるなど、一人ひとりが自分のできることを楽しそうにやっているそんな2年生の姿はとても素敵でした。そして、そのことを自然に温かく学年が受け止めていることも素晴らしい姿でした。2年生はまもなく、最上級生です。野比中のまさに「顔」となります。自信と誇りをもって、1年後自分の進路を切り拓き、野比中を卒業してほしいと改めて思いました。



各学年の取り組みの紹介となりました。コロナ禍のために、生徒たちの姿を直接、ご覧いただけなかったこと、申し訳なく思っております。中でも生徒たちは確実に成長しています。様々な教育活動にご理解ご協力いただき、感謝申し上げます。次年度も野比中学校をどうぞよろしくお願いいたします。

野比中学校の中心は授業、そして、今求められている力は、人と協同し、対話し、最適解を見つけていくこと。そのための授業を野比中は追究しています。これは、先生たちだけでできるものではありません。生徒全員と一緒に創り上げていくものです。そして、それは、生徒同士がお互いを尊重し、よさを認め合い、励まし合ってできるものです。授業も学校行事も部活動もそして校外での活動もすべてがみなさんの力になっています。『じりつ・そうぞう・豊かな心』の学校教育目標を達成できるよう、次年度も頑張りましょう。

